



園だより



令和8年2月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 大塚 玲華

「育ち合う子どもたち」

長時間保育担当 岩田 菜都

早いもので今年度も残り2か月となりました。子どもたちは子供園という集団の中で互に関わり合い、生活や遊びを通して大きく成長してきました。今月の園だよりでは人と関わり、育ち合う子どもたちの姿についてお話しします。

3歳児うさぎ組は担任との関わり楽しみ、信頼関係を築いてきました。最近では担任との関わりを介して周囲の幼児の存在に気付き、同じ場で過ごすことを楽しむようになってきました。その中で、子どもたちは人と関わる心地良さや「入れて。」「いいよ。」など、人との関わりに必要な言葉を知っていきます。

4歳児ぱんだ組は友達と一緒に遊ぶことを楽しんできました。初めは互いに自分の思っていることを自分なりの言い方で伝える姿が多く、思いが異なりぶつかる場面も沢山経験してきました。しかし、「親しみのある友達に伝えようとする、伝わることでさらに親しみをもつ」ことや「保育者と一緒に相手の気持ちを知る」ことの繰り返しの中で相手にも思いがあることに気付き、話を聞こうとする姿や相手に分かるように伝えようとする姿が見られるようになってきています。

5歳児きりん組は様々な活動や遊びの中で友達と力を合わせる経験をしてきました。その中で、「〇〇ちゃんは足が速い」といった友達の得意なことに気付くだけでなく、「〇〇くんならいい考えをもっているから聞いてみたい」「〇〇ちゃんは今こんな気持ち」というように友達の心情や考え方にも気付くようになってきました。友達と関わるからこそ、互いの良さが分かり、良さを活かし合ってさらに遊びを楽しくしたり、認め合うことで自信をもったりする姿が見られるようになってきました。また、友達との遊びでは自分の考えだけではなく、相手の考えも受け入れると遊びが楽しくなるという経験を積み重ねてきたことで、互いに思いを伝え合い、調整して折り合いをつけるようになってきています。

長時間保育にも育ち合う姿は見られます。長時間保育は全員保育と異なり、全学年が合同で生活しています。うさぎ組やぱんだ組が困っていることがあると、きりん組はその様子に気付いて助ける姿が見られます。例えば3歳児の名札を4・5歳児が名札をつけくれたり、友達と思いが異なった時に、5歳児が「どうしたの？」と声を掛けてくれたりします。きりん組にとっては、自分よりも小さい友達とどのように関わる必要があるか知る機会となり、うさぎ組やぱんだ組にとっては、きりん組への憧れの気持ちをもち、「きりん組みたいになりたい！」と様々なことへ意欲をもつきっかけとなっています。

子供園での生活を通して、子どもたちは様々な人と関わり、人に対する親しみや安心感、自分の思いの表し方、相手の思いへの気付きや自己調整、年長者に対する憧れや意欲、年少者への思いやりや関わり方など、様々なことを学び育ち合い、大きく成長していきます。

3学期になり、子どもたちは「もうすぐ〇〇組だ。」「次は小学生だ。」と進級や就学に期待を膨らませるようになってきました。憧れの大きいクラスや小学生になることが嬉しくて待ち遠しい姿が見られています。残り2か月、さらに子どもたち一人ひとりが人との関わりの中で育ち合うことができるようにしていきます。

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

「ねこになりたい」「電車を作って遊びたい」など、やりたいことを見付け、遊びに使いたいものや場を自分なりに作ることを繰り返し楽しんでいます。「先生になる！避難訓練です！」「警察だ！パトカーで出動！」など、なりたいたものになりきって動くのも楽しくなってきました。

「お友達と一緒に遊びたい」という思いが出てきて、保育者を介して遊びに誘う姿が増えてきました。保育者と関わりながら他児と触れ合い、それぞれが自分の思いを言葉や表情で出してみようとしています。

今月は、次のことを重点にして指導していきます。

- 自分の思いを保育者や他児に言葉や表情、動きなどで出す心地よさを味わう。
- 保育者や学級の幼児と一緒にいろいろなものになりきって動くことを楽しむ。

学級の集まり（おたのしみ）や好きな遊びの中で、いろいろな絵本のストーリーの面白かった部分を保育者と一緒に再現して自分なりに動く「おはなしごっこ」を楽しんでいます。学級で集まってみんなでなりきった嬉しさから「もう一回やりたい！」「またやろう！」と繰り返し、好きな遊びの中でもやりたくなって保育者との簡単なやりとりや自分なりの動きを楽しんでいました。2月末の劇遊びでは、のびのびなりきって遊ぶありのままの姿を温かく見守ってください。

ぱんだ組

友達と大まかな遊びのイメージを共有しながら遊ぶ中で、自分の思いや考えを言葉や動きなどで友達に伝えようとする姿が増えてきました。自分の思いを出しながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じるようになってきています。学級全体の活動では、転がし中当てや楽器遊びなどを行っています。転がし中当てではボールや転がす人の動きを見て、ボールに当たらないようにみんなで動くことを楽しんでいます。楽器遊びではいろいろな楽器に触れて遊ぶ中でリズムに合わせて鳴らしたり、友達と音を揃えて鳴らしたりすることを楽しむようになってきました。コマ回しや短縄にも繰り返し取り組み、できるようになった嬉しさを感じています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の思いや考えを友達に伝えて、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 学級の友達と一緒にいろいろな活動に意欲的に取り組む。
- 当番活動やお別れ会の準備をする中で年長組になる期待をもつ。

2月は、年長組への進級に向けて、当番活動の引継ぎやお別れ会の準備などの取り組みが始まっていきます。年長児への憧れの気持ちや感謝の気持ちを感じたり、進級への期待をもったりしながら、一人ひとりが力を出しているように支えていきます。

きりん組

友達とめあてを共有しながら、思いを出し合い、力を出し合いながら遊ぶことを楽しんでいます。「こうしたいんだけど、どうしたらできるかな」と考え、悩んだ時には一緒に遊んでいる友達や、近くにいる友達に聞いたりして、幼児同士のつながりの中で助け合ったり教え合ったりしています。互いのいいところや得意なことが分かり、思いついたことを「自分たちの力で」実現できることに充実感をもっている姿があります。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分や友達の良さを言葉にして伝え、互いに認め合いながら遊びや活動に取り組む。
- 就学を楽しみにし、期待をもって修了に向けた活動に取り組む。

学級の友達と、互いのよさを認め合う中で、自分のよさを友達に受け止めてもらう経験が就学に向けた自信につながるよう支えていきます。

2月からは修了に向けて取り組みが始まっていきます。友達や園との別れへの寂しさや、就学への期待感など、心が揺らぐ時期です。様々な気持ちに寄り添いながら、就学を楽しみにできるように支えていきます。園と家庭で連携しながら、温かく見守っていきましょう。